

<他集落との連携、高齢農家等への支援に取り組む事例>

○良好な景観の維持に向けた農地保全への取り組み

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山梨県北杜市高根町 <small>ほくとしたかねちょう</small> 長沢 <small>ながさわ</small>			
協定面積 10.3ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	米			
交付金額 252万円	個人配分	41%		
	共同取組活動 59%	農用地の維持管理費	38%	
		農道の維持管理・補修等	7%	
		役員報酬・研修会費	14%	
協定参加者	農業者 47人			開始:平成12年度

2. 取組に至る経緯

当地区の農用地は棚田が大半を占め、昔ながらの原風景が感じられる景観が形成されている。しかし傾斜はきつく、小区画・不整形な圃場が多いなど作業条件が悪いうえ、日照時間が短いなど生産性も低いことから、農業離れが進み耕作放棄地の増加が深刻な問題となっていた。

地域では集落協定の締結を契機に話し合いを続けてきた結果、昔から受け継いだ地域資本を守り次世代に引き継ぐことを目的とし、高齢者農家への農作業受委託の推進、傾斜のきつい農地の荒廃化の防止活動、農地周辺の環境整備の維持などを、集落全体で取り組むこととした。

3. 取組の内容

退職就農者や次期農業後継者を地域の担い手として位置づけ、これら農業者を中心に耕作放棄が懸念される農地の草刈りや耕耘など農作業の受託、水路管理の請負に取り組むとともに、集落協定で耕作道や法面の点検を実施し、高齢者農家が安心して農作業できる環境づくりに取り組んだ。また、冬期に水田の漏水調査を行い、必要に応じて補修作業を実施した。

この結果、地域活動の機会が増え、農地の保全に対する地域住民の関心が高まりつつある。



【地域担い手による農地環境整備】



【共同取組活動で購入したハンマーモアによる保全活動】

[集落の将来像]

地域の実情に即した持続可能な農業生産活動等の体制整備



[将来像を実現するための活動目標]

・水田を整備し、棚田を活かし都市住民・企業との交流が図れる体制整備

[活動内容]

農業生産活動等

農地の耕作・管理
(田10.3ha)

個別対応 (一部担い手対応)

水路・農道の管理
・水路1km、年3回 清掃、
草刈り、耕作道整備

共同取組活動

農地法面の点検
(随時)

共同取組活動

多面的機能増進活動

景観作物の作付

協定内農地に菜の花を播種

農業生産活動の体制整備

農地法面・水路・農道等の補
修、改良
(1km 年3回)

担い手農業者

加算措置としての取組等
小規模・高齢化加算
(7.7ha)

共同取組活動

集落外との連携 (協定参加者以外との連携した活動を行っている場合に記載)

○地元観光施設「花の森公園・道の駅南きよさと」と連携し、周辺林地の整備を行っている。

4. 今後の課題等

この地区は小規模・高齢化集落であるため、次世代を担う若者や農業者の確保が急務である。また棚田を中心とした景観を活かし、棚田オーナー制度など都市住民との交流活動の推進を図るために地域づくり社会の構築に取り組むことにも力を入れ、魅力ある地域再生も併せてしていきたい。

[第2期対策の主な効果]

○ 機械・農作業の共同化
田植機の共同利用 (約8ha)